

令和8年2月17日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

子どもサイエンスフェスティバル寒川大会

令和8年1月17日(土)に寒川町民センターで「子どもサイエンスフェスティバル」を開催しました。このたび、平成20年から始まった子どもサイエンスフェスティバルにおいて、はじめて寒川の地で開催することとなりました。

協議会の会員を中心に8つのブースの出展がありました。当日は294名(子ども158名、保護者等136名)の来場と、盛況な1日となりました。

アンケート結果は、満足度の平均が4.7(5点満点)と高い結果をいただくとともに、「つくるのが楽しかった」「いろいろ体験できて子どもも楽しんでいました」というコメントもいただき、充実した「子どもサイエンスフェスティバル」となりました。

開催の様子



前日準備

前日にセンター職員が会場に行き、机・椅子の移動や荷物の運搬を行い、出展に向けた準備を行いました。また、1つの団体が前日準備を行いました。



開始前・開始直後の様子

10:00の開始を前に来館された方もいました。早めに来館された方には、建物内で待っていただきました。午前中に205名、午後には89名の方が入場されました。

① **かがくのはなをさかせよう** (吉坂 保徳)

水の毛細管現象を利用して水性ペンに含まれる色の成分を分離する実験です。「実験が楽しかった。」と出来上がった “はな” を見せてくれる参加者もいました。



② 発電と電池の体験デモンストレーション (NPO 法人 神奈川県環境学習リーダー会)

手回し発電機や備長炭電池などを体験し、電気について楽しく学ぶことができました。「発電機の仕組みがとてもふしぎだった。」などの声を数多くいただきました。



③ テン セグリティー (NPO 法人 でい工房)

参加者の皆さんは、とても楽しそうに組み立てていました。「テン セグリティーが不思議だった。」など、テン セグリティーの構造について完成品を見て考えている参加者の方もいました。



④ おもしろ科学ひろば (認定 NPO 法人 おもしろ科学たんけん工房)

風船とCD盤を用いてミニホバークラフトをつくり、膨らませた風船の空気の流れでミニホバークラフトを浮かせ、滑らせて遊びました。「空気の流れで簡単に進むからすごい！」と驚いていました。



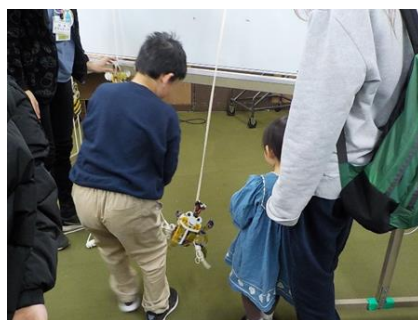
⑤ 伊志田の実験ミュージアム (県立伊志田高等学校 自然科学部)

動物の骨格標本や昆虫標本、魚類剥製など部員さんたちが作った標本を数多く展示していただきました。葉脈標本づくりでは、「とても楽しかった。」などの声を数多くいただきました。



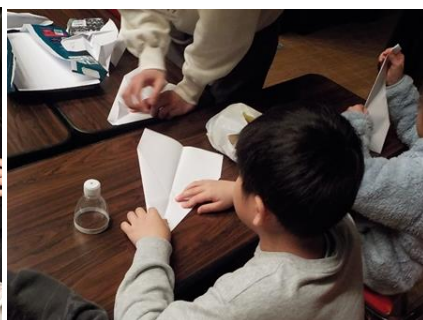
⑥ ペットボトル顕微鏡でミクロの世界を見てみよう (公益社団法人 日本技術士会神奈川県支部)

ペットボトルとビーズを利用して顕微鏡をつくりました。「ペットボトル顕微鏡が面白かった!」と、とても楽しそうに顕微鏡をのぞき込み、観察をしていました。



⑦ 木のぼり虫たちをつくろう (公益社団法人 日本技術士会神奈川県支部)

摩擦を利用した工作です。参加者の皆さんは、オリジナルの虫たちをつくり、とても楽しそうに遊んでいました。「虫が動く様子がかわいい。」などの声を数多くいただきました。



⑧ 紙ひこ〜きで遊ぼう♪風見効果の話 (川崎 哲治)

紙飛行機を遠くに飛ばす方法を説明していただき、真剣に紙飛行機をつくっていました。「紙飛行機が遠くまで飛んですごかった。」など、とても楽しそうに体験をしていました。

事務局から

過日ご案内の通り、3月6日(金)の総会の後に科学講演会を開催します。講演は国立研究開発法人 理化学研究所 生命医科学研究センター 和田 章 氏による「『生命と金属』～生命現象を担う金属元素の理解から創薬まで～」です。是非奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

ただいま、総会の出欠の回答を受付しております。2月19日(木)締切となっておりますので、ご回答されていない会員の方はご対応のほどよろしくお願い致します。

(事務局 千葉、山田、山口、藤野)

